



団体名 **ヴェル・オレンジカフェ**

事業名 **認知症カフェ 特別企画ピアノコンサート**

事業の紹介



補助金額 **40.8 万円** / 総事業費 **61.2 万**

認知症を他人事ではなく、「誰にでも起こりうる」という問題意識を啓発し、悩みを抱えている方々の「地域の居場所」としての役割を担えるよう、月1回認知症カフェを実施してきました。

今回は、「かりや夢ファンド補助金」を活用して新たな企画に取り組み、内容の充実や医療福祉の専門員を配置するなど、参加者が気軽に相談・楽しめる内容にしました。コロナ感染症の影響を受けて実施が困難になる中、意見交換を重ね、「ヴェル・オレンジカフェ特別企画ピアノコンサート」を開催し、幅広い参加につながりました。



感染対策を行って、演奏を楽しんだ

協働の役割分担



市民活動団体 ＜役割＞	ボランティア団体 ＜カフェの運営＞
地域団体 ＜役割＞	民生委員 ＜広報・呼びかけ＞
事業者 ＜役割＞	特養ヴェルバレー職員 ＜企画・運営、専門員＞ 地域包括支援センター ＜企画・運営＞
市民 ＜役割＞	地域住民 ＜呼びかけ、企画・運営＞

取組みの流れ

こんな想いでスタートしました

- ・北部の地域ケア会議から地域の協力を得ながら活動が始まりました。
- ・これまでに健康講話や体操など様々な活動を行ってきました。
- ・コロナ感染症の影響で当初の計画は実施できませんでしたが、スタッフと意見交換を重ね、施設のピアノを活かしたい、イベントだけでも開催したいという想いからスタートしました。

こんな準備をして取り組みました

- ・去年は月一回のペースで活動していましたが、コロナ感染症の関係で思うように活動ができなくなりました。
- ・感染症の動向を見ながら、開催時期を調整しました。
- ・ある程度感染が落ち着いた時期をみて、消毒、換気、検温、医療用マスクなど、できる限りの対策を考えて取り組みました。

こんな点を工夫しました

- ・開催中は換気のため窓を開放したり、コンサートでは声を出さないよう、静かに聴いて頂き拍手をするようにしたりするなど、感染対策を徹底して行いました。
- ・来場者が楽しめるよう、ウキウキさせるモーツァルトのトルコ行進曲、思い出を回想させる効果のショパンのノクターンといった曲目や来場者が口ずさんだり、手拍子ができる唱歌や歌謡曲も演奏しました。

●「まちづくりコーディネーター」は、刈谷市民のまちの課題を「自分ごと」と考え、取り組んで行くために、参加のよびかけ・対話・活動の運営をお手伝いしています。

★「かりや夢ファンド」は、刈谷市民が「刈谷のまちをよくしていく」活動を応援する補助金制度です
【問合せ】 刈谷市役所 市民協働課 TEL0566-95-0002 詳細は市ホームページをチェック！>>



こんな活動をしました！

日時：2020年11月8日（日）12:00～14:30

場所：刈谷市北部生涯学習センター 多目的ホール

参加者：70人 運営者10人、ボランティア5人

広報媒体：かりや市民だより、北部地区回覧ほか、市民だよりに告知。

内容：＜オレンジカフェ運営＞

現場の様子

- ① お茶、お菓子の提供（料金 100 円）
- ② 認知症や地域の認知症カフェについての情報提供コーナー設置
- ③ みんなの保健室（保健師・看護師による相談室）、介護相談
- ④ ピアニストによるピアノコンサート（13:00～14:00）

こんな効果が生まれました

- ・地域の方を中心に子どもから高齢者まで様々な年代の方が参加して、演奏を楽しまれました。
- ・お茶やお菓子でリラックスしたり情報コーナーや相談室を設けて、認知症に関する情報提供ができました。
- ・ピアノコンサートを開催することで気軽さが生まれ、地区外からの参加や新規参加者もありました。
- ・「また来よう」という気持ちや認知症カフェの意義を知るきっかけとなりました。

こんな課題がありました

- ・今回は、感染対策を行って開催しましたが、今後の感染状況によって開催が左右されてしまいます。
- ・コンサートが盛況だったため、音楽療法をより取り入れることや来場者のニーズを引き出すことが課題です。
- ・なかなか外出できない高齢者の方に来てもらうため、会場までの移動手段や会場内までの坂道が課題です。
- ・トイレなどの細かい援助を行う必要があります。

今後に向けて

- ・今回のように“生”の演奏に触れる機会を続けたいです。
- ・若い世代が参加できるように活動を周知します。
- ・コンサートをひとつの売りとして、地域に開かれたイベントを開催していきたいです。
- ・認知症カフェを運営し、認知症に対する啓発や認知症予防に重点を置き、「地域の居場所」となる役割を担っていききたいと思います。

参加者の声

- ・市民だよりを見て家族で参加しました。認知症カフェの存在を初めて知りました。
- ・活動を知らなかったですが、参加しやすい雰囲気だったので機会があったらまた参加したいです。
- ・ピアノ演奏、選曲が素晴らしかったです。
- ・認知症カフェのことは知らなかったが、楽しいイベントだったのでまた参加したいです。

主催団体の声

- ・近くの施設にピアノがあり、良い機会となりました。今後も地域に開かれたイベントを開催していきたいです。
- ・高齢者で閉じこもりがちな人が元気になるように参加してほしいです。

取材を終えて…まちコの感想

- ・コロナ禍なのにイベントが盛況であったこと、また、この活動を知れたことを嬉しく思いました。会長さんの実体験の熱い想い、高齢者が心身共に健康に生活できるためにも認知症カフェが必要だということが伝わりました。今後は、音楽療法などへ活動を広げながら、効果・成果を出していただきたいと思います。そして、「かりや夢ファンド補助金」がこの活動の一助となっていることを他の人にも知っていただけたらと思います。（久保田富士子）
- ・コロナ禍でイベントを開催すること自体が難しい中、様々な対策を行われた上で地域の方が楽しまれていたのを見られてとても良かったです。私もデイサービスで勤務していて、以前はボランティアの方が演奏等をして頂く機会もあり、懐かしく思いました。（松尾友美）